

地域おこし協力隊とは

都市部の住民が地方に移住し、地場産品の開発・販売・PR、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行い、その地域への定住・定着を図る総務省の取り組みです。



茅葺き技術の習得と活用

牧田沙弥香さん

静岡県静岡市出身。令和2年4月から委嘱。

常陸風土記の丘で、茅葺き職人に弟子入りし修行をする傍ら、茅のモノクロ写真を撮影し、芸術作品としても発信している。



スポーツツーリズムによる地域活性化

堀江寛仁さん

東京都北区出身。令和2年9月から委嘱。

サイクリングと歴史散策を融合したイベントなどを企画・実行している。また、 自身の YouTube で、市内をツーリングする様子を動画で配信している。



獣害対策

荘野徹郎さん

牛久市出身。令和3年8月から委嘱。

元陸上自衛隊員。市の初代「狩りボーイ」を目指して、活動中。害獣駆除だけでなく、それを地域資源として活用し、地域振興に繋げる取り組みにも携わる。



市長 そうだったのですね。市内を走っていて、 特に印象的だった出来事はありますか?

堀江 石岡市に来て間もない頃、上曽峠を桜川 市から帰って来るときのことです。足も疲れて いて、とてもゆっくり峠を登っていたら、道路 脇にリスがいたんです。逃げもせず、大きな実 を頬張っていました。野生のリスを見たのは初 めてだったので、とても感動したのを覚えてい ます。石岡市にリスがいるということはもちろ ん、それよりも感動したのは、逃げずに姿を見 ることができたということです。

これは、車でもバイクでもなく『自転車』だっ たからだと思っています。自然を感じながら走 ることができる、サイクリングの魅力をあらた めて実感できた出来事でした。



市長 石岡市長の谷島洋司です。地域おこし協 力隊の3人には、日頃から石岡市の魅力発信 や地域での活動にご尽力いただきありがとうご ざいます。今日は、皆さん自身のお言葉で、日 頃の思いなどを、忌憚なくお話してもらえれば と思います。よろしくお願いします。

自転車だからこそ 気付けた景色があった

市長 早速ですが、あらためて皆さんの日頃の 活動をお話しいただけますか?

堀江 私は、サイクリングなどスポーツを活用 した地域活性化に取り組んでいます。コロナ禍 により、昨年度・今年度と、イベントなどで人 が集まることが難しい状況でした。そこで、自 分が市内を走っている様子を、動画で撮影し、 YouTube で紹介したりしています。

石岡市はサイクリストにとって、とても良い 場所だと感じています。都会からのアクセスも 良いですし、八郷地区には、峠がたくさんある ので、坂道を好んで走る人たちにとっても魅力 的なんです。そういう人たちのことを、サイク リストの間では、敬意をこめて『坂バカ』と呼 ぶのですが、私もその一人です(笑)



市長 石岡市に移住してから、ご自身の中で変化などはありましたか?

牧田 できないことの多さを実感しています。これまでの生活では必要がなく経験してこなかったことが、こちらに来たら当然の知識として求められることがあります。例えば石油ストーブの使い方や刈払機での草刈り、ご近所への挨拶周りなど…。パソコンやカメラ機器が使える事よりも大切なことがたくさんありました。

これまでは、新たに何かを作ることばかりで、 今あるものを利用する、維持することへの意識 が薄かったように思います。

茅葺きは、外見の美しさだけでなく、地球を維持するために必要な役割を持つという機能美があります。茅場の保全が水を綺麗にし、動植物を生かし、茅葺き屋根からでた古茅が土を肥やして作物を育てます。茅葺きは生きるための知恵として、長年培われてきたものなのです。

石岡には、そのように生きるための知恵を 使って生活している人が多いと感じています。



市長 コロナ禍で、様々なことが制限される社会の中、人間らしく生きていくためには一体なにが必要なのか、牧田さんの活動から見えてくるのかもしれませんね。

牧田 私は、常陸風土記の丘で、茅葺き職人に 弟子入りして、毎日現場に通っています。それ と並行して、光を受けた茅の表情を収めたくて、 カメラを持ち込み、モノクロ写真を撮って自分 のホームページに投稿しています。



茅の魅力に気付いたのは、大学院の修了制作に取り組んだ時でした。稲わらを使って、屋根のような形を制作したのですが、その時は、素人が作ったものでしかなく、技術が足りないことを痛感しました。しかし、茅の表情に魅せられてしまって。

そのタイミングで、石岡市で茅葺きに関する 地域おこし協力隊の募集を見つけて、迷わず応 募しました。

田舎だからこそ なんでもあった

牧田 移住する前に、石岡市出身の知り合いに 「何もない田舎だから…」と言われました。でも、 住んでみたら『田舎だからこそなんでもあった』 んです。私が今まで、作品を作るための素材と して求めていた、わら、木材、土などが、本当 にたくさん揃っています。その他にも、食べ物、 人、自然など、総合してとても豊かな場所だと 感じています。

市長 都会と比べると、『有る無し』の基準がまったく異なるかもしれません。牧田さんは、ご自身にとって必要な素材が、石岡には豊富にあるということを、住んでみて気付かれたのですね。元々住んでいる我々では、なかなか気付くことができない、地域の魅力を見つけていただき嬉しく思います。



市長 その時期は、どのように乗り越えたので すか?

荘野 他自治体の協力隊や、OB・OG の方と 交流する機会があり、悩みを相談した時に「半 年~1年は、自分で活動内容や方針を決める ことはあり得ることだよ」と言ってもらい、安 心しました。あとは、農政課職員の皆さんや、 狩猟関係で知り合った先輩など、活動を理解し て、協力や助言をいただいたことも、ありがた かったです。

ありがたいと言えば、石岡市に来てから、野 菜や果物を分けていただく機会が、格段に増え ました。やっとお返しできたと思ったら、また すぐ返ってきたり (笑)。石岡で暮らす皆さん の人柄の温かさに救われています。



荘野 私は、獣害対策として、まずは狩猟に参 加できるようになるため、免許取得に向けて取 り組んでいます。ただこの4か月活動してき て、獣害の問題は、単にイノシシが増えている だけではなく、森林に人の手が入らないことや、 使わない畑が増えていることなど、環境的な要 因もあると感じました。ですので、森林整備や 耕作放棄地の活用などに関する活動にも力を入 れていきたいと思っています。実際に、今年の 夏に友人が借りていた畑の一部を使わせてもら い、油糧用ひまわりを1反(約1,000㎡)ほ ど植えると、秋にはひまわり油が70ほど採れ ました。今後も、少人数でも可能な、価値ある 利用方法を探っていきたいと思います。



市長 就任4か月で、良いスタートが切れた んですね。格好も、とても似合っていますよ。 馴染んでいて驚きました。

今年は豚熱もあり、イノシシ肉を取り扱うに あたっても難しい状況でのスタートだったと思 いますが、獣害対策から派生していろんな分野 に関心を持っていただき、ありがたいです。

期待に応えなければ… 焦りを感じた時もあった

荘野 就任してから、4 社ほどのメディアで紹 介していただきました。石岡市には、朝日里山 学校という県内で唯一のイノシシ肉処理加工施 設もありますし、それだけ獣害対策の隊員とし て期待されているのだと感じました。

しかし一方で、活動内容が定まるまでは、本 当にこれで地域に貢献できているのか、もっと なにかしなくてはと、焦りを感じた時期もあり ました。その時は、苦しかったですね。

せるよう、狩りボーイ・狩りガール希望者が現 れるような活動、そして、発信をしていきたい と思っています。

市長 3人とも、石岡市に移住し、様々な体験 を通して、魅力を発見してくれていることがわ かりました。また、課題の解決に向けて積極的 に取り組んでいただいて、非常に頼もしく感じ ています。これからも引き続き、石岡の魅力発 見・発掘・発信に取り組んでいただけたらあり がたいと思います。

短い時間でしたが、皆さんとお話しできて楽 しい時間を過ごすことができました。

ありがとうございました。

3人 ありがとうございました。

地域おこし協力隊 Facebook ページ 「いしおこし」



地域おこし協力隊の3人が 活動内容を紹介しています。

「いいね! | を押 して、3人を応 援しましょう▶



市長 それでは、最後に、皆さんの今後の抱負 を教えてください。

堀江 サイクリングイベントの企画実行と市内 の写真や動画を発信することの2本柱をしっ かり実施し、少しでも石岡の発展に貢献できる よう頑張りたいと思います。直近ですと、3月 に市内で、獅子頭ライドが開催される予定です (詳しくは次ページ)。市内外から多くの参加者 が集まるビックイベントなので、石岡市の魅力 を存分に感じてもらえるよう、しっかり準備を したいと思います。

牧田 これまで、見習いをやりながら学んだ茅 葺きの技術や知識を用いて、茅を使った立体的 な作品の展示会を、市内で開催したいと思って います。可能であれば、制作段階から地域や市 内の学校なども巻き込めたらと思っています。

その他、茅場を整備したり、筑波大学との連 携など、茅葺きを残していけるような仕組み作 りもできたらと考えています。

荘野 年度末の狩猟期間中に、まずはイノシ シを1頭捕獲するのが目標です。長期目標は、 後継者不足が課題となっているハンターを増や



サイクリング・茅葺き・獣害対策における

「地域おこし協力隊×市の取り組み」





石岡獅子頭ライド 2022 参加申し込み受付中



開催日:3月19日田

スタート・ゴール地点:石岡市役所

コース: ①ショートコース 48.9km ②ロングコース 68.3km

定員:400人(全コーストータル)

参加料: ①ショートコース 6,500 円 ②ロングコース 8,000 円

※市民は各コース 2,000 円引き

間政策企画課 **T€** 23-7277

\ゲストライダー/







編代さん(MC)

篠さん

正智智さん

広告掲載欄

広告掲載欄



鳥獣対策関連補助金

間農政課 Tel 43-1111



景観保全への取組

間都市計画課 Tel 23-5523

箱わな購入補助金

対象:市内に住所を有し、ハクビシンなどによる農 作物被害を防止する目的で箱わなを購入する人

補助額

経費の2分の1以内 (上限5千円/台)

※1世帯4台まで補助可。 要事前申請。



農作物被害防止防護柵設置補助金

対象:市内に住所を有し、イノシシなどによる農作 物被害を防止する目的で防護柵を設置し、次のい ずれかに該当する人

- ①3人以上の農地所有者が共同で連続した3筆 以上の耕作農地に防護柵を設置する
- ②農地所有者が個人で耕作 🕷 農地に防護柵を設置する

補助額:経費の2分の1以内

- ①上限 20 万円
- ②上限 3 万円
- ※要事前申請。



※補助金は予算に達し次第、受け付けを終了します。

\ 雷気柵のご使用は適正に/

電気柵をご使用の際には、法律に適合 した器具を使用し、感電や漏電に十分注 意して適正な管理を徹底してください。 イノシシの侵入を防ぐために、使用中 は電気を常に流し、使用を中止した際は、 速やかに撤去するようお願いします。

広告掲載欄

まちづくりファンド

平成29年4月から、石岡らしい景観を守 るために「石岡市住民参加型まちづくりファ ンド支援事業 | を実施しています。

市民や企業からの寄附などを財源として、 看板建築や茅葺き民家など、石岡ならではの 建物を保全しようとするものです。

これまでに、フルーツライン沿いのいちご 園の直売所の改修などに活用さ れました。制度について、詳し くは右の二次元コードからご確 認ください▶



\茅葺き民家を研究拠点に/

令和元年度から、筑波大学の「茅葺民家を 活用した地域再生拠点づくり|プロジェクト として、八郷地区小屋の茅葺き民家の改修を 進めています。

この茅葺き民家は、地方ならではの豊かな 暮らしを実現する地域をつくるための研究拠 点や、地域の交流スペースとして活用される ことが検討されています。



広告掲載欄